

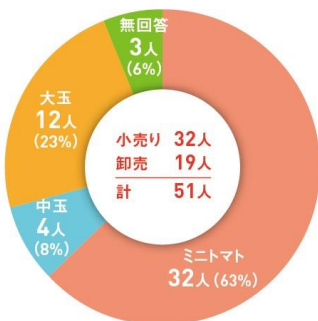
令和5年12月6日

## 夏秋取りトマト特集 青果担当者ら51人が売れ筋トマトを回答 6割がミニトマトを選択



日本農業新聞広報局は6日、本紙別冊保存版「夏秋取りトマト特集」を発行しました。今回は初めて売れ筋のトマトを探ろうと小売店や卸売会社146社にアンケートを依頼。回答した51人の6割が大玉、中玉、ミニのうち売れ筋として“ミニ”を選びました＝グラフ1参照。大玉トマトに比べて栽培の歴史が浅いミニトマトですが、カットせず、お弁当などにも使いやすいなど手軽さが受けて、売れ行きが良いようです。

【グラフ1】青果担当者が選ぶ  
売れ筋トマト



アンケートは小売店29社、卸売会社19社の青果担当者ら51人が回答しました。売れ筋トマトを聞いた質問では小売り21人、卸11人の計32人と全体の63%がミニトマトを選びました。自由記述の意見では「50代以上は大玉、若い世代はミニを選ぶ傾向にある」の声があり、子どもでも手軽に食べられるなど、子育て世代を中心にミニトマトの人気の高さがうかがえました。また、複数回答で聞いた求める品質では36人が「高糖度」を選びました。

「夏秋取りトマト特集」（12ページ建て）、本紙別冊特集号として12月6日に発行。アンケートの結果は紙面で速報を掲載しています。特設ウェブサイトでは13日に詳細を追加掲載します。

### 本紙別冊保存版「夏秋取りトマト特集」

【紙面編成】12ページ

【掲載内容】生産動向や病害虫対策、全国の主要トマト産地によるアンケート、トマト栽培に必要な資材などを掲載。トマトに特化した特集紙面です

保存版  
**夏秋取り  
トマト特集**

特設サイトも公開



### 【日本農業新聞】

国内唯一で最大部数の日刊農業専門紙「日本農業新聞」を発行。2021年11月に電子版を創刊し、デジタル分野での情報発信も強化しています。

日本農業新聞（日刊・宅配）

**28万2,022部**

※2023年10月部数（紙＋電子）  
※北海道は日曜休刊

公式ウェブサイト

**月間PV 91万765**

※2022年1月～12月の平均値。  
Google Analyticsで計測。

お問い合わせ先：株式会社日本農業新聞広報局広告部  
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3  
TEL：03(6281)5810  
E-mail：[koukoku@agrinfo.co.jp](mailto:koukoku@agrinfo.co.jp)  
担当：鶴澤、鹿住